



埼玉県全域における 石橋供養塔のアーカイブ化

チーム名：ダさいたまとは言わせない
日本大学経済学部 田中圭ゼミ

八 鋤 誓 心 (2年) ・ 松木愛果 (2年)
八木澤藍生 (3年) ・ 河合萌花 (3年)

はじめに

石仏と民俗学

神と仏の民俗学：佐賀県の民間信仰

飯田（1966）

石仏の復元

近世庚申塔にみる流行型式の普及
—江戸周辺における物質文化交流の復元への試み—

石神（2002）

地域の埋もれた文化財「路傍の石仏」の保全と利活用に関する考察
～木更津の庚申塔を例に～

上村（2015）

石仏と災害

千葉県の近世六十六部廻国の諸相
—元禄・宝永期の災害と六十六部廻国供養塔造立の考察—

小松（2023）

石仏を対象に、多角的な視点から研究されている

概要



+



幅の狭い所に架けるもの ➡ 中小河川、用水路

永久橋 ➡ 一度作ればそう簡単に壊れない

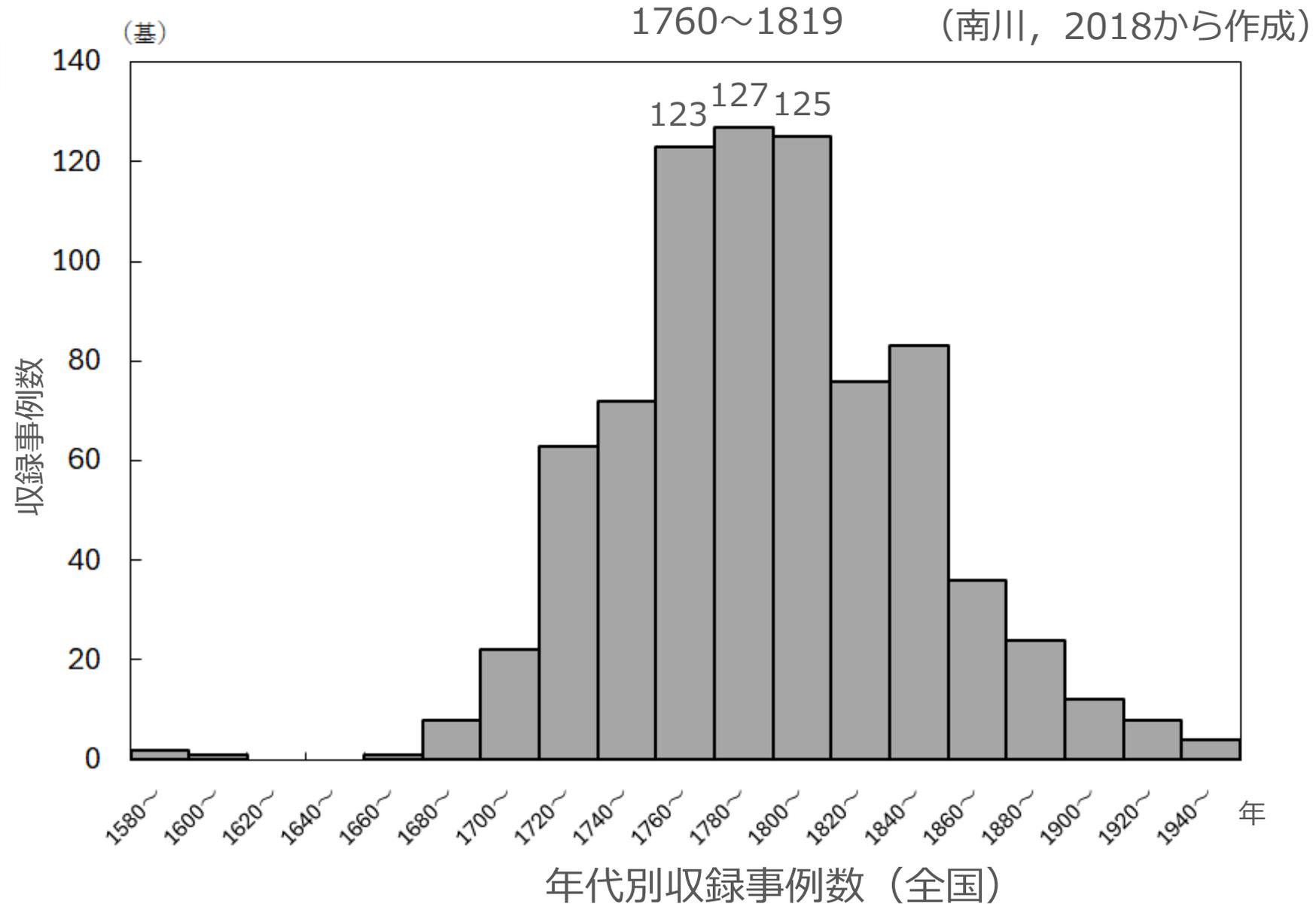
流失、退役した橋の供養 / 通行人の安全祈願

江戸時代（中期）に建立されたものが多い

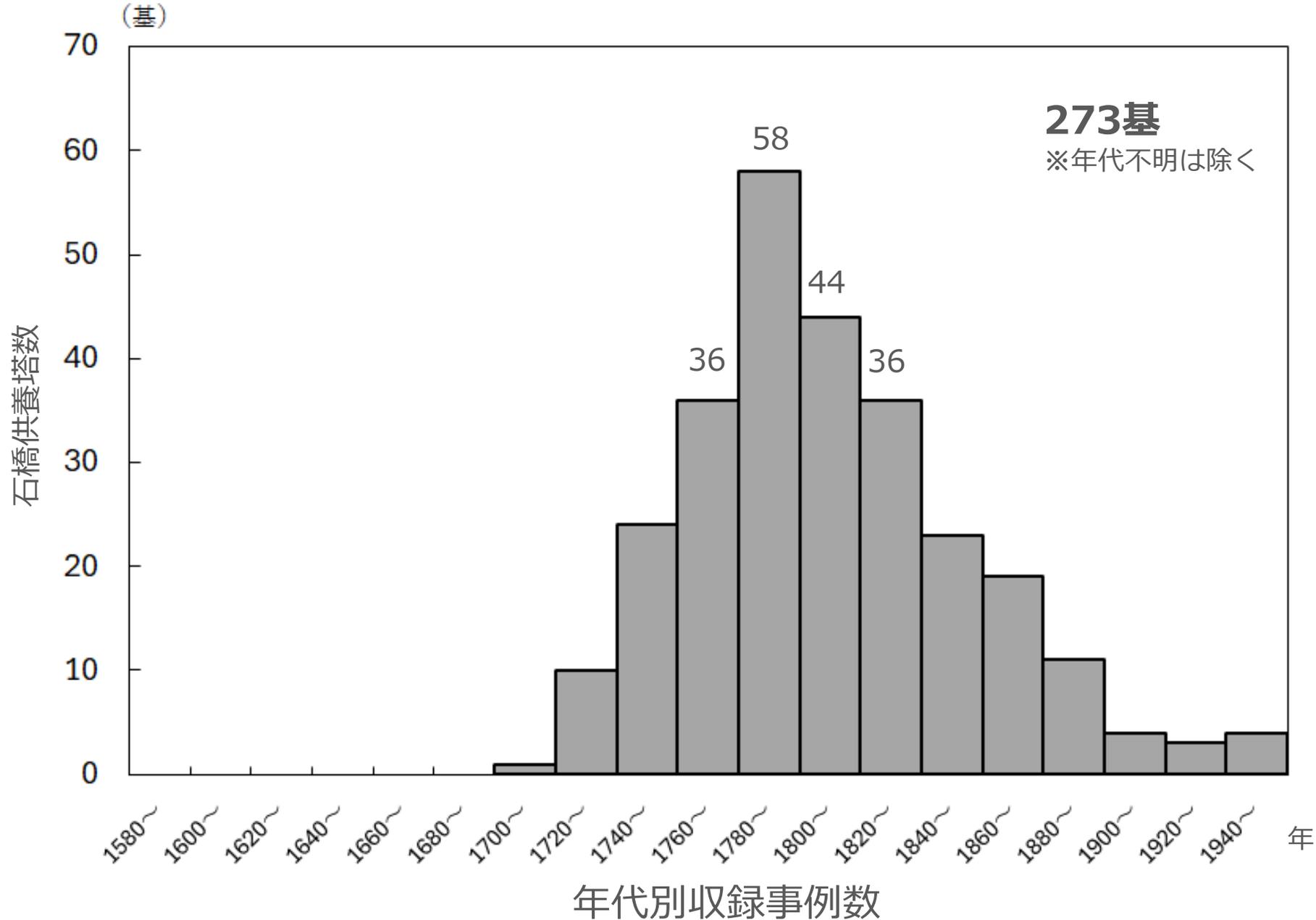
石橋供養塔（都道府県別）

都道府県別収録事例数

都道府県名	収録事例数
埼玉	447
東京	208
神奈川	64
群馬	30
栃木	23
茨城	18
千葉	9
宮崎	9
長野	8
岩手	8
大分	7
岡山	5
山口	5



石橋供養塔 (埼玉県)



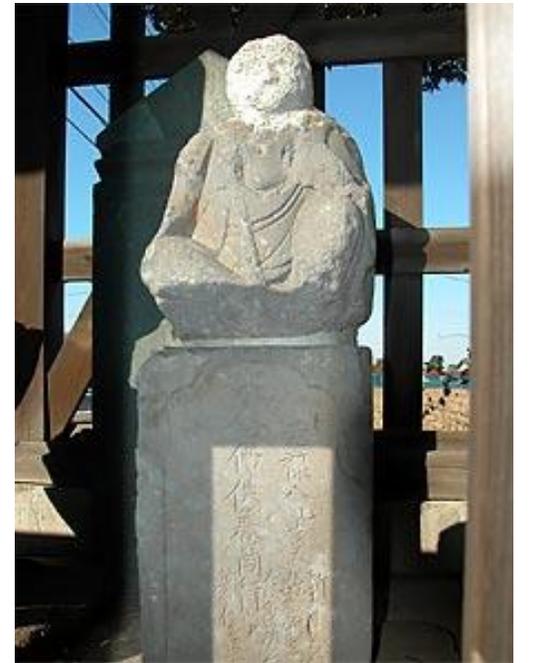
1760～1839年

多くの供養塔が建立された

1778年：9基

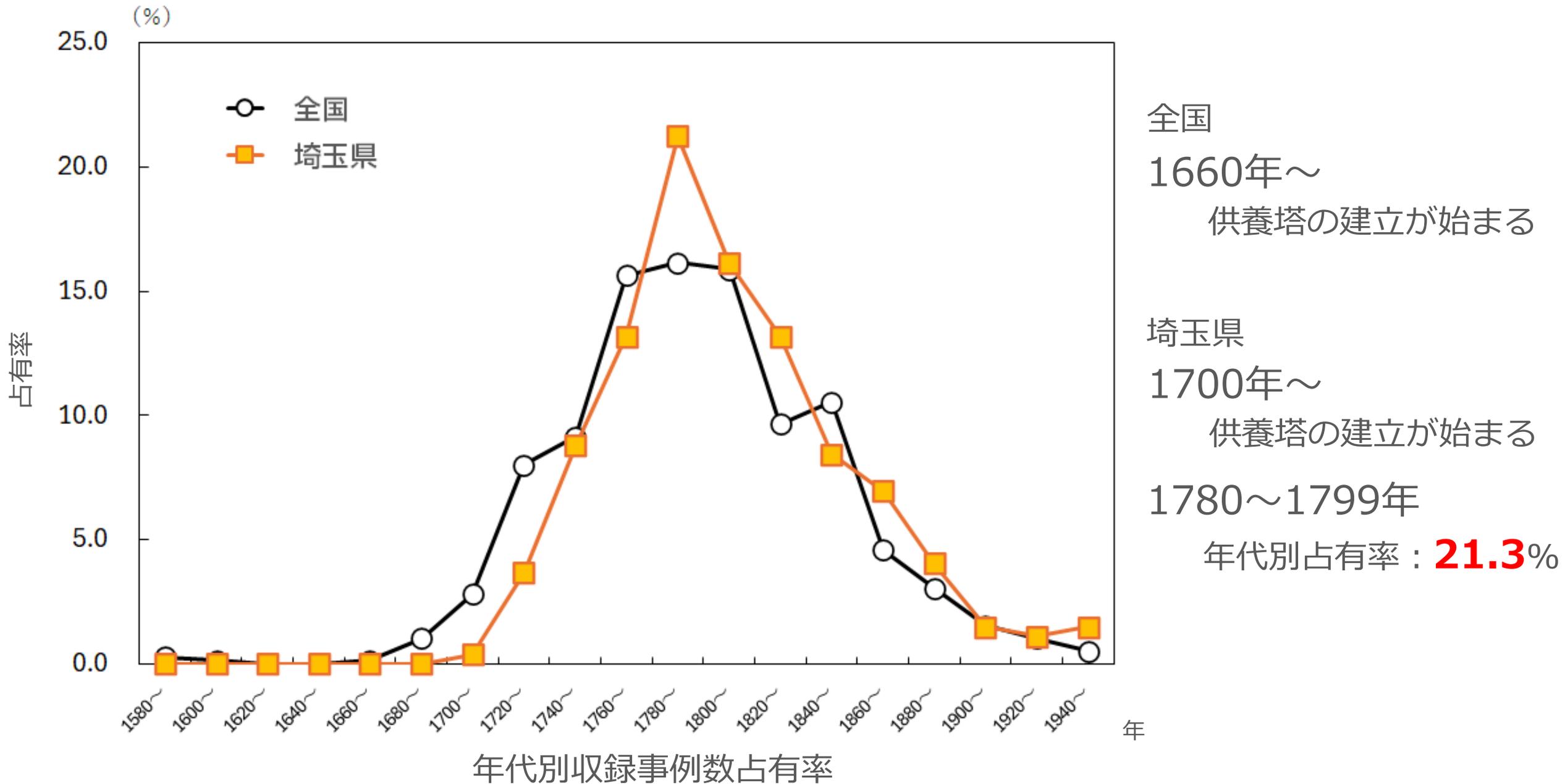
1777年：8基

1766年：7基



橋供養：富士見市(1695)

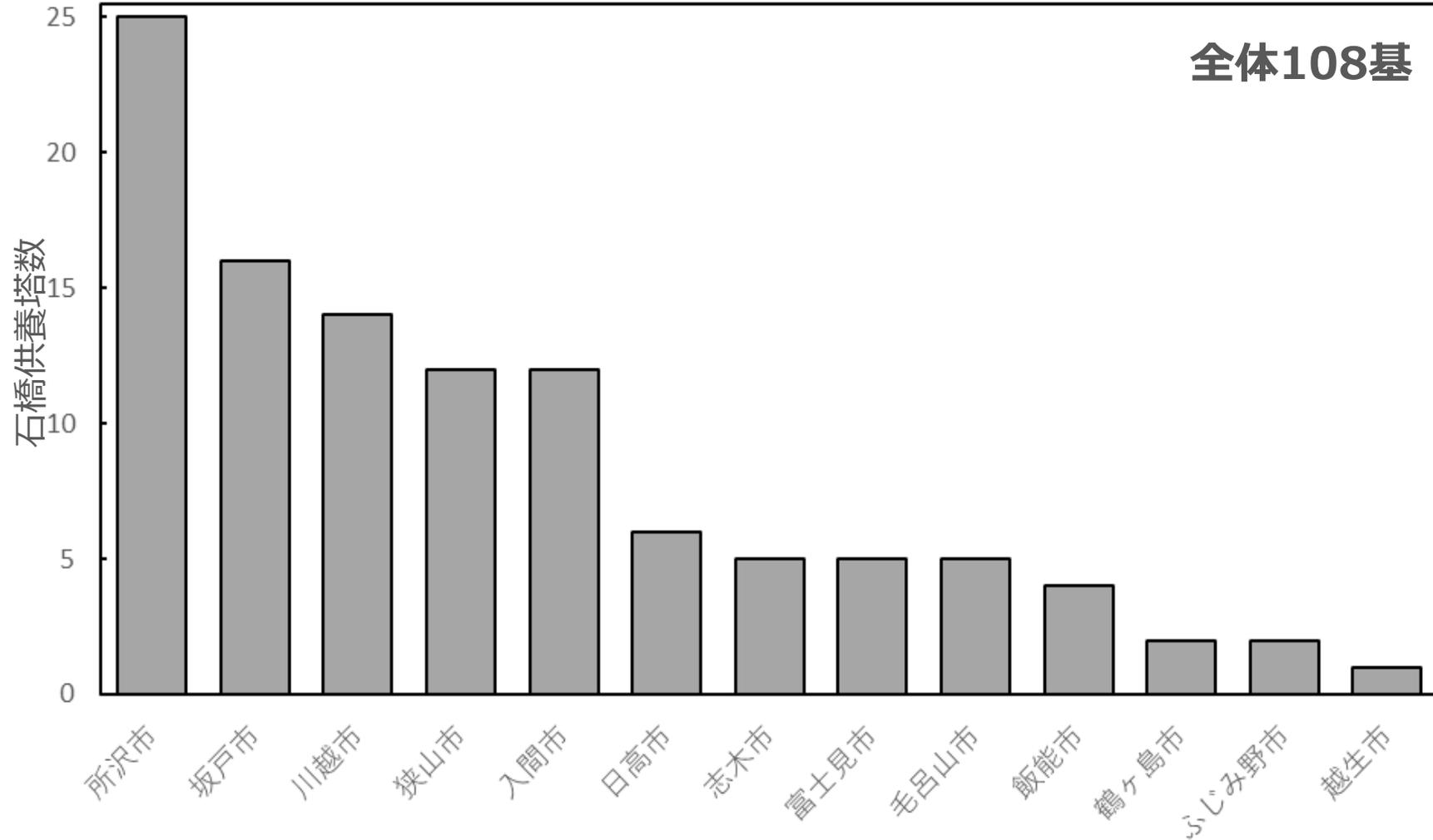
石橋供養塔 (埼玉県)



石橋供養塔 (埼玉県)

(基)

文献などから作成



全体108基

所沢市、坂戸市が多い
→実地調査を行なった

市の資料
供養塔に関する文献
が少ない

市町別 (旧入間郡) における石橋供養塔数

目的

問題点

ほとんどの石橋は取り壊され、供養塔だけが**現存**

市の資料,文献などの情報が**少ない**

都市開発によって、元の位置が**不明**な供養塔が多い
→ 神社仏閣に移設、または撤去されることも…

地元住民は供養塔の存在は認識しているが、
本来の意味について**不詳**であることが多い

埼玉県滑川町 (Googleストリートビュー)



2014年2月



2019年6月

目的

現存している供養塔の位置を,文献をもとに
現地調査やGoogleストリートビューなどから特定
→供養塔の位置をマップにし、**アーカイブ化**

作成した供養塔のアーカイブの**オープンデータ化**

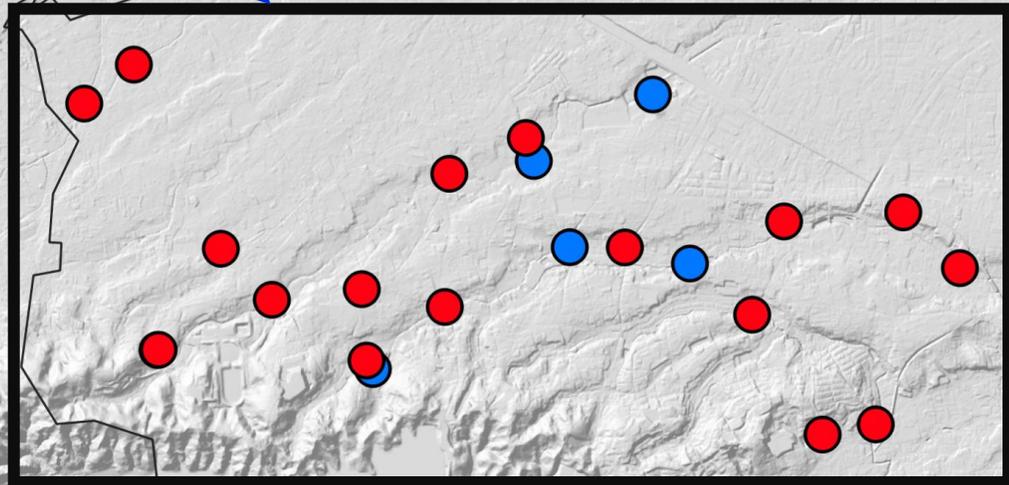
アーカイブ化を通じて
地域の貴重な石橋供養塔の意義を広める

埼玉県所沢市

北東部：武蔵野新田 (江戸時代中期)

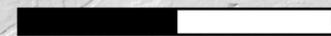
- 文献などから発見
- 現地調査で発見

調査できた範囲

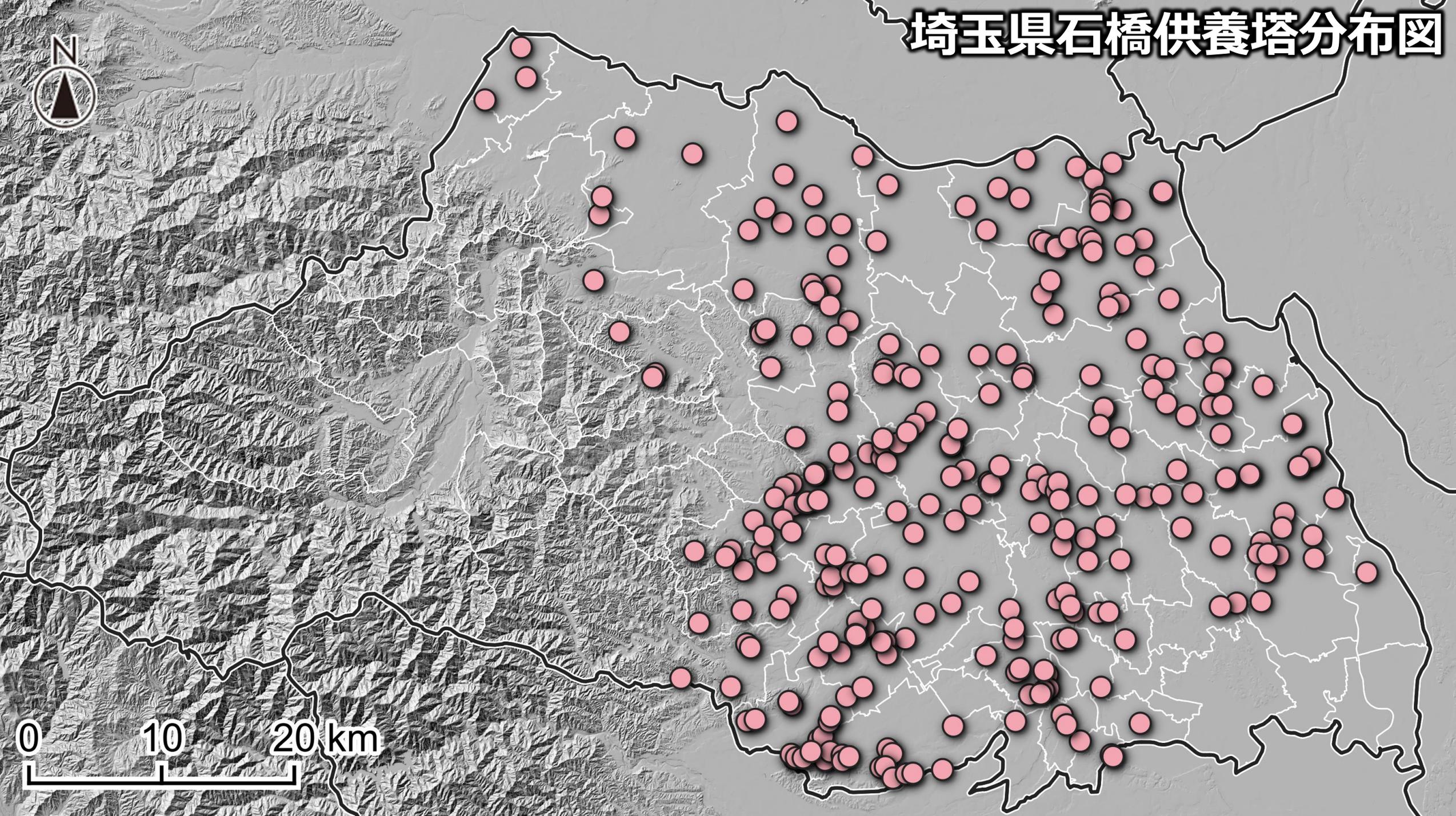


南西部：狭山丘陵

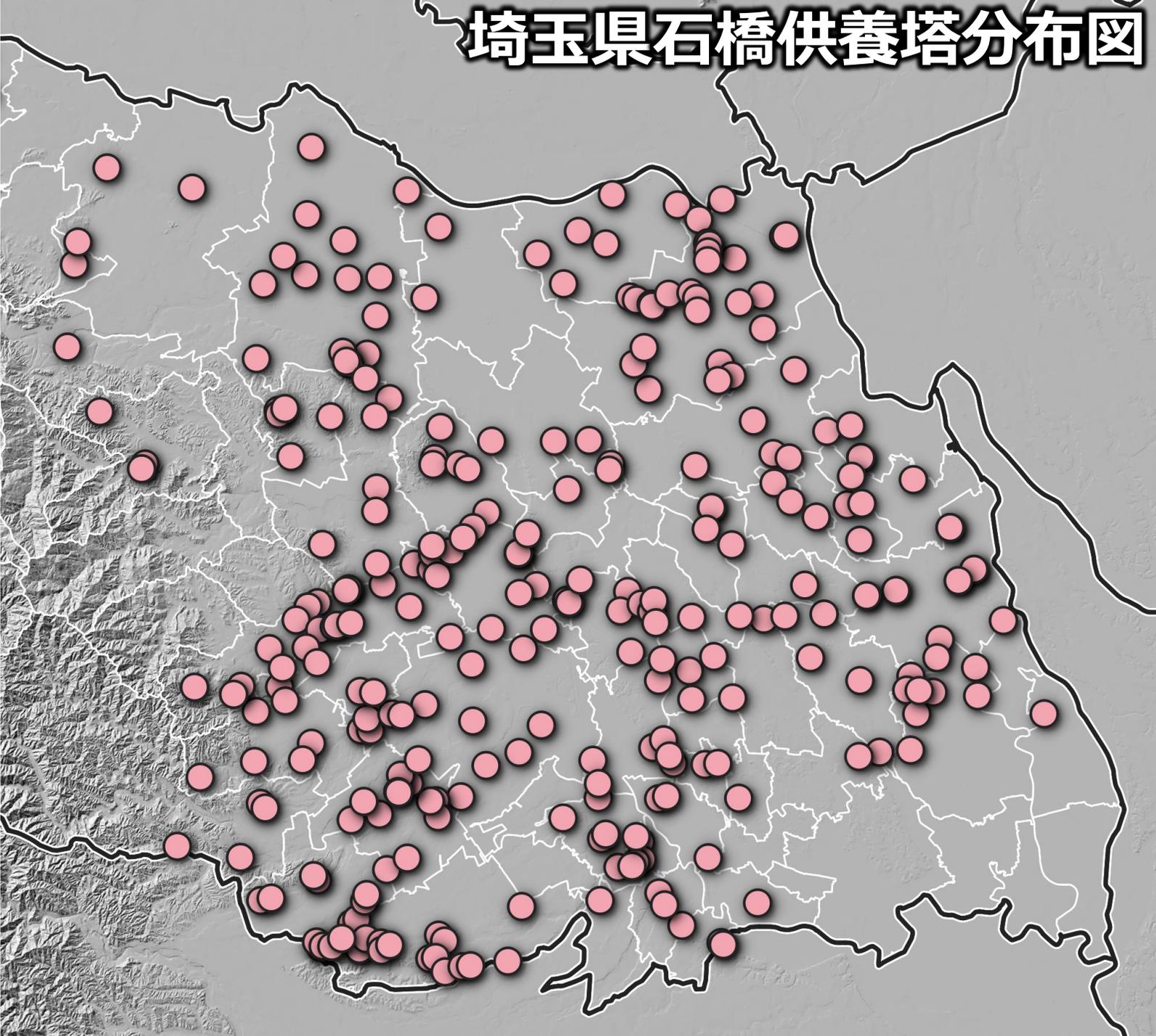
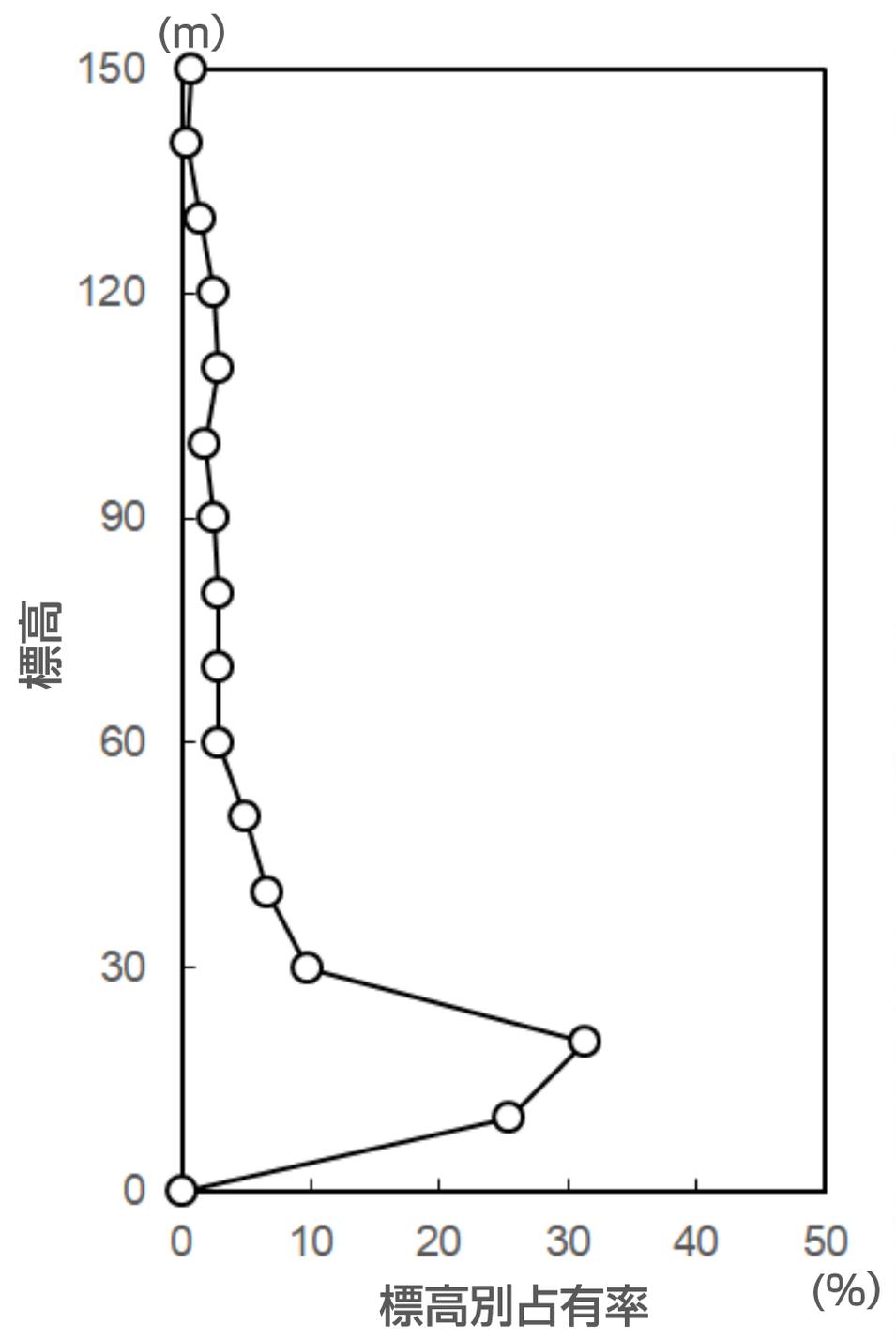
0 1 2 km



埼玉県石橋供養塔分布図



埼玉県石橋供養塔分布図



最後に

今回調査した埼玉県全域の
石橋供養塔のアーカイブデータは、

無料で閲覧・ダウンロード

できます。



https://dronerice.sakura.ne.jp/map/ishibashi_v2/

ご清聴ありがとうございました。